

取組の概要

取組の概要 : くり産地再生に向けた加工への取組
 計画作成主体 : 四万十町担い手育成総合支援協議会
 対象品目 : くり (産地面積: 50.2ha)
 主な取組主体 : しまんと新一次産業株式会社
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 助成金の活用 : 整備事業 (農産物処理加工施設) 状況

ポイント

- 栗ペースト加工施設の整備により、青果出荷から、くり加工品 (くりペースト) 出荷へシフト。
 - 成木率の増加及び先進地の剪定技術などの実践による生産量の向上。
- 以上により、販売額の10%以上の増加を実現する。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

作付面積 : 49.2ha
販売額 : 13.7千円/10a

〈目標:H30年度〉

作付面積 : 50.2ha
販売額 : 54.0千円/10a



推進体制

しまんと新一次産業株式会社、高知はた農業協同組合、県須崎農業振興センター高南農業改良普及所、四万十町等が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 生産者、JA、四万十町、地元企業などで構成される協議会が主体となり地区のくり出荷量増産に向け、栽培先進地の剪定技術などの導入を行っている。
- 四万十の栗加工品を「ふるさと名物応援宣言」の名物に選定。

〈県・町単独事業〉

- 四万十町柚子・栗園保全管理事業等により、くりの剪定技術などの指導にかかる費用の一部助成による先進地の栽培技術導入の支援。

事業効果

- 地元商社への栗ペーストの安定供給ができ、栗の加工品の販売額の増加、地域の活性化につながる。
- 栗ペースト販売による収益を活用し、先進地の栽培法の実践や新植等の生産部門の強化に取り組むことができる。
- それらにより、くり産地の再生に向けた地区の機運が高まり、くり農家の栽培意識の改善や新たな就農者の確保につながる事が期待される。

～くり加工品製造による販売額増加～

